

JetPress 720S

長期休暇モード移行手順書

2024年版

<https://www.ffgs-sup.jp/>

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

FFGSサポートタウン



JetPress 720S 長期休暇モードへ移行する手順

年末年始や、夏季休暇など、JetPressを長期休暇モードへ移行する際の手順をご説明致します
本手順書では従来の手順に加え、ヘッドキャップに治具を取り付ける手順を追加しています。

概要

長期休暇モードとは

連続して64時間以上、2週間以内の範囲で装置を起動しない場合にプリントヘッドノズル面の乾燥を避けるために自動でメンテナンス動作を実行するモードのことです。

※次の条件に当てはまる場合は、サービスマンによる事前作業が必要となります。

予定がわかり次第、あらかじめサービス保守会社または担当営業までご連絡下さい。

- ・2週間を超えて装置を停止する場合
- ・長期休暇モード中に建屋内が停電してしまう場合
- ・凍結の懸念(0°C以下になる可能性)がある場合
- ・長期休暇中に装置環境を保てない場合(環境温度5°C~30°C / 環境湿度20%~70%)

長期休暇モード移行手順

長期休暇モードへ移行手順(概要)を記載します。

詳細な手順については、後述のページをご確認ください。

1：長期休暇モードへの移行方法

- 1.液供給タワーにインク各色とヘッド洗浄液、ヘッド保湿液がある事を確認する
Refill Ready (白ランプ)、Near Empty (青ランプ)時は補給する
- 2.ヘッドクリーニングウェブが半分以上残っている事を確認する。少ない場合は交換する
- 3.ヘッドキャップの清掃を行い、保湿治具を取り付ける
- 4.ヘッドキャップ内側(高い側)に保湿液またはFRSS精製水を150cc入れる
- 5.インク廃液タンク、プレコンディショナーの廃液タンクを空にする
- 6.操作画面より「システム終了」または「データ待ち受けモード」を選択し、
「プレコンディショナーユニットクリーニング」、「終業時クリーニング」を実行する。
クリーニング終了後、画面上で電源オフを押し、本体、周辺機器の電源を切る
(本体、乾燥制御盤、ベビーコンプレッサー(水抜き実施)、水冷ボード温調機(チラー)
※インク温調機は電源を切らない
- 7.主電源横のLTSスイッチに付属の鍵を挿し右側に回す
- 8.LTSスイッチの鍵を抜く(30秒以上待つ)
- 9.本体の主電源を入れる
- 10.画面上で長期休暇モード表示になる事を確認する
- 11.一回目のクリーニングが実施され、「長期休暇モード中です」と表示されることを確認する
*「長期休暇モード移行中にエラーが発生しました」と表示される場合は画面の手順に従ってエラーを解除する。
- 12.ジェットイングシリンダー前面カバーを開閉し、プリントヘッドの動作音がする事を確認する

2：長期休暇モードからの復帰方法

- 1.ジェットイングシリンダーの前面カバーを開閉しプリントヘッドの動作音がする事を確認する
音がすれば正常です。音がしない時は動作が停止された可能性があります
- 2.長期休暇モード画面右上の「電源ボタン」を押す
- 3.システム終了画面が表示されるので「電源オフ」ボタンを押す
- 4.操作画面が消えた事を確認して、本体の主電源を切る
- 5.LTSスイッチに付属の鍵を挿し左側に回す
- 6.LTSスイッチに付属の鍵を抜く(30秒以上待つ)
- 7.始業点検を実施する
- 8.システム始動をする(通常の起動を実施)
- 9.保湿キャップの保湿治具を取り外す

1：長期休暇移行前準備

- 1.液供給タワーにインク各色、ヘッド洗浄液、ヘッド保湿液が十分にある事を確認します
Refill Ready(白ランプ)、Near Empty(青ランプ)が点灯している場合は補給が必要です。

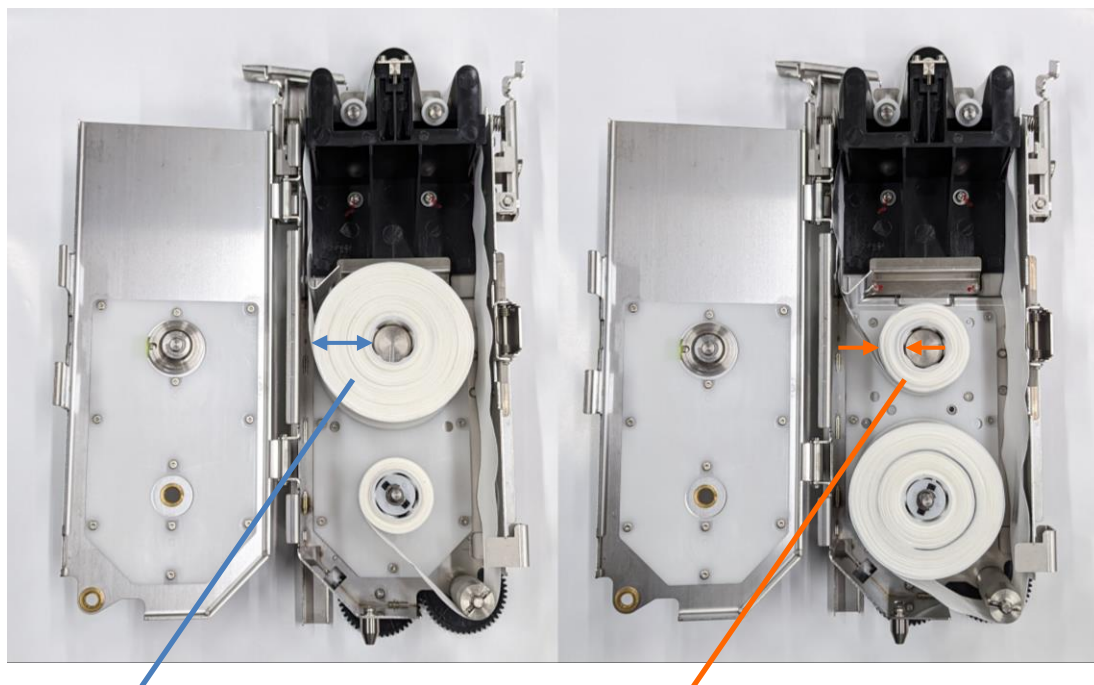


- 2.ヘッドクリーニングウェブの残量を確認します
ヘッドクリーニングウェブが半分以上残っていることが目安です

ヘッドクリーニングウェブ交換モードに移行し、残量を確認します。

- ①メンテナンス / ②交換 / ③ヘッドクリーニングウェブ

- ・新しいウェブが半分以上残っている場合はカセットを元に戻します
- ・新しいウェブの残量が半分以下の場合には新しいウェブを取り付けます



新しいウェブが半分以上残っている

新しいウェブが半分以下

3. プリントヘッドキャップを清掃します

ヘッドキャップ清掃モードに移行し、清掃を行います。

- ①メンテナンス / ②清掃 / ③プリントヘッドキャップ清掃

各プリントヘッドキャップに付着したインク汚れや、異物をウエスでふき取ります

- ・プリントヘッドキャップに溜まっている保湿液をギヤサイドの廃液用穴から流し出します
- ・シール部材に付着しているインク汚れ、インクカスをウエスでふき取ります



シール部材

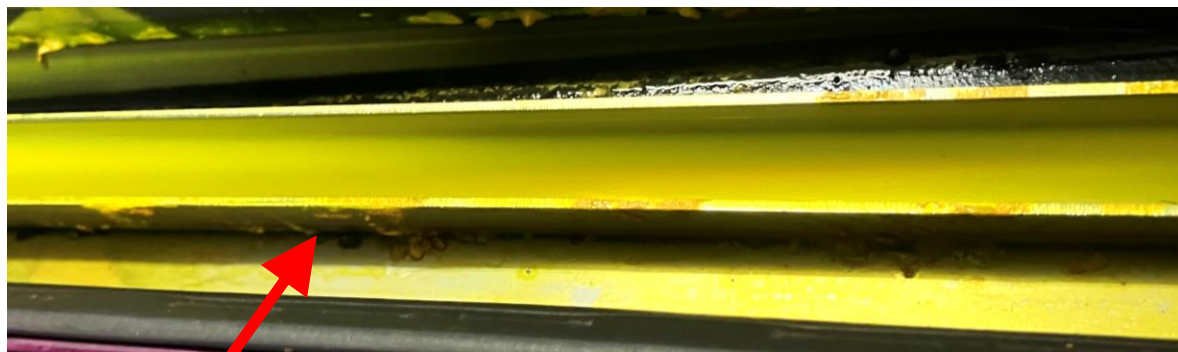


オペレーターサイド



ギヤサイド

- ・キャップ内部の仕切り板上部に堆積している場合も同様に清掃を行ってください



仕切り板

注意

ヘッドキャップが汚れてしまい廃液用穴が詰まっていると、以下写真のように保湿液が本来の高さ以上に溜まってしまふことがあります。

保湿液の液面が高くなるためヘッド表面に保湿液が接触してしまい、ノズル抜けやヘッド劣化などの原因となります

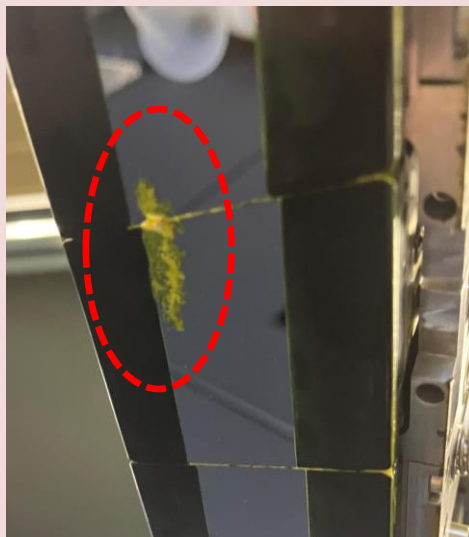


キャップ内部の仕切り板上面にインクが堆積している場合もインクカスがヘッドに接触する可能性がありますので必ず清掃を行ってください。



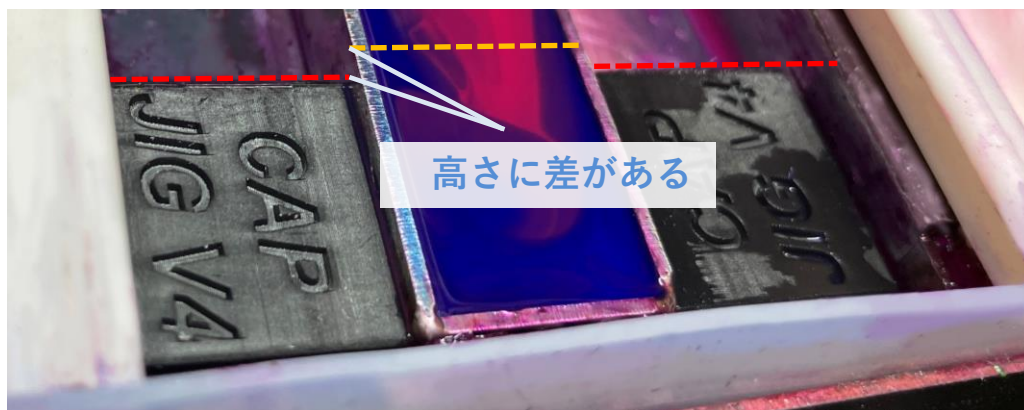
仕切り部分に堆積したインク

※インク付着例の画像は750Sのヘッドキャップです



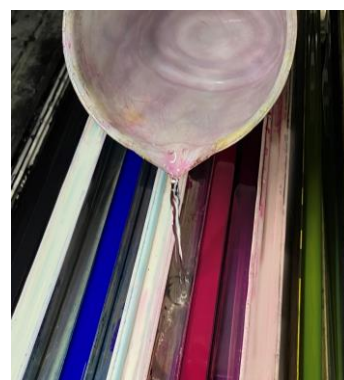
プリントヘッドに付着したインクカス

4. 清掃が終わったプリントヘッドキャップの廃液用穴に保湿治具を差し込みます
斜めから見て、治具の高さが保湿キャップの仕切り板より低くなっていれば問題ありません。



5. 各色のプリントヘッドキャップの内側(高い方)の溝に保湿液またはFRSS精製水を流し込みます。
流し込む量は約150cc、仕切り板の高さを超えない程度です。

液を流し入れた後、取り付けられた治具の隙間から保湿液が少しずつ流れていくことを確認します。
液が流れていくのは仕様ですので問題ありません。



6. プrintヘッドキャップ清掃モードを終了します
7. 終業メンテナンスを実施します
プレコンディショニングユニットクリーニング、終業時プリントヘッドクリーニング
8. JetPressをシャットダウンします
9. インク廃液、プレコンディショニング廃液の残量を確認します
タンクに廃液が入っている場合は液を空にしてください。



2：長期休暇モードへの移行

1.主電源スイッチ隣のLTSスイッチにカギを差し、**右側に回して**「長期休暇モード」に切り替えます



2.主電源のスイッチをONします

電源をOFFにしてから1分以上経過してから電源をONにしてください

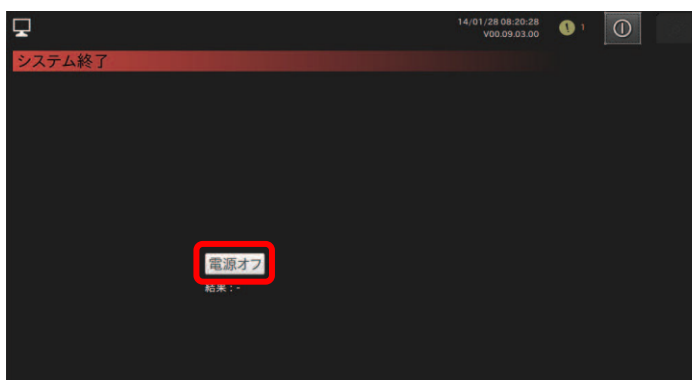
3.排紙部の操作画面が長期休暇モードに移行する画面に切り替わります。
「長期休暇モード中です」の文言が表示されることを確認します。



4.ジェットングシリンダ部のカバーを開閉し、プリントヘッドの初期化動作音がすることを確認します。

2：長期休暇モードからの立ち上げ

1.主画面右上のボタンを選択し、「電源オフ」を選択します



2.給紙側、排紙側両方の画面表示が消えたら主電源のスイッチをOFFします

3.主電源スイッチ隣のLTS スイッチに付属の鍵を差し、**左側に回して**「通常モード」に切り替えます



4.指導前点検を行い、装置を通常起動します

5. クリーニング実施後、プリントヘッド移動モードを選択します
①メンテナンス / ②清掃 / ③プリントヘッド移動
6. プrintヘッドキャップに取り付けていた、保湿治具を取り外します
オペレーターサイドから指をかけ起こすようにして取り外します。



7. プrintヘッド移動モードを終了して長期休暇モードは終了です